

モニターの

注目

今月は、越智里美香さんが登場します。

越智さんは、身近にある行事を見直すことの必要性と私たちのまちの行事を私たち自身が作り上げていくことの大切さについて提言されます。

地域活動やまちづくり活動の本来のあり方とは

成人式の報道を見て

例年にならない暖冬でお正月らしくないお正月も過ぎ、また新年の慌ただしさも過ぎて、日常の落ち着きを取り戻しつつ、今月は何をレポートしようかなと思案している中、成人式についての報道が耳に留まりました。

1月第2月曜日の成人の日に合わせて、全国的な恒例行事として行われている成人式ですが、笠岡市でも1月7日に笠岡総合体育館で開催されました。今年の新成人は



589人ということですから、人口5万6900人の約1・03%ということになります。全国的には約139万人で総人口に占める割合は1・09%で、昨年の1・12%を更に下回り、過去最小だそうです。

自分たちのまちに対する深い想いがあるからこそ

私が関心を持ったのは、夕張市で行なわれた成人式についての報道です。『例年、自治体からの補助金を受けて成人式実行委員会が成人式を行なっていた。本年度は、財政状況からその補助が得られず、式典開催が危ぶまれていたが、数名の新成人有志と実行委員が中心となり、カンパや募金などで資金を集め開催に漕ぎ付けた。』というニュースでした。

資金集めなど準備期間からメディアが取り上げ、テレビ報道された効果も大きいとは言え、全国からあれ程多くの支援と協力を得られたのは、中心となった方々に深い想いがあったからこそだと思います。特に、実行委員となり率先して内外に働き掛けたという新成人の方々の行動力と想いの強さにはとても感心しました。笠岡市でも新成人18人の方々が実行委員となり、開催に向けてご活躍なさったという事です。

世代を超えて力をあわせ

成人式という全国的に行なわれている行事だから、出来得たことかもしれないとも思っています。しかし、置かれた環境の違いはあっても、私欲なく、世代を超えて一丸となり、模索しながら力を合わせて成人式(＝行事・事業)を開催したということ、これが地域活動やまちづくり活動の本来のあり方ではないかとも思いますし、こうした人たちの力がまちを育んでいく源になっていくと思います。

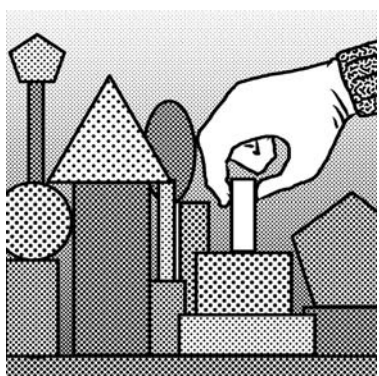
身近な行事の見直しを

一見、成人式とまちづくりは、何の関連性もないように思えますが、全国各地、一斉に行なわれる成人式を、人づくりや、失われていた世代間交流の復活や実践の機会など、地域づくりの契機に出来るとして、取り組む自治体も少な

私たち自身が！

いながらも増えてきているそうです。今回採り上げた成人式だけでなく現在、身近に行なわれている慣例行事についても、同じ様に見直してみることが大切かと感じます。

年輩の方々や先人の方々の導きを戴きながら、加えて『上げ膳、据え膳』ではなく、主体的な参画、『私たちのまち』の『私たちの行事』を、『私たち自身』が、受け継ぎ、作り上げていくことが大切だと思います。



このページのご意見・ご感想をお待ちしています。また、「市政についての質問・提言」などがあれば併せてどうぞ。

お便り…〒七一四一八六〇一 笠岡市中央町一―

企画政策課モニター係

☎2110 FAX02288